



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	「北海道宇野ゼミ with 北大REBN」の実施について
Author(s)	平本, 健太; Hiramoro, Kenta
Description	セミナー
Citation	地域経済経営ネットワーク研究センター年報, 15, 40-40
Issue Date	2026-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/99302
Type	departmental bulletin paper
File Information	REBN_15_040.pdf



<セミナー>

「北海道宇野ゼミ with 北大 REBN」の実施について

報告者：地域経済経営ネットワーク研究センター長 平本 健太

地域経済経営ネットワーク研究センター（REBN）の産学連携・地域連携活動の一環として、企業横断型若手従業員セミナー「北海道宇野ゼミ with 北大 REBN」を、2025年12月から2026年7月にかけて実施しています。

本セミナーは、元・大和総研の宇野健司氏と、当センター長の平本健太が講師を務め、月1回の頻度で開催するものです。道内企業の若手従業員（原則35歳以下）を対象に、組織論、キャリア形成、管理論（中間管理職のあり方）、戦略論等を題材として、グループワークとディスカッションを中心に据えた主体的学習の場を提供します。

参加企業は、北洋銀行、ホクレン、北海道ガス、岩田地崎建設、JR北海道、北海道電力、キットアライブの計7社です。あわせて、現役北大生や北大OB、飛び入り参加の企業関係者等も受け入れ、多様な参加者が交流できる構成です。また、参加企業が持ち回りで各回の幹事会社を担い、会場の選定・設営から終了後の懇親会の運営までを担当する運用としました。

本セミナーを企画した問題意識は、とりわけ若手社員にとって、職場の課題や悩みを共有・相談できる社外の人的ネットワークが十分に形成されていないのではないか、という点にあります。趣味のサークルや学生時代からの関係は存在し得る一方で、「ビジネスパーソン」として仕事上の葛藤や課題を率直に語り合えるつながりを、社外に自ら築くことは必ずしも容易ではありません。近年、多くの企業で課題となっている早期の自己都合退職についても、社外

ネットワークが十分に形成されていないことがひとつの背景として考えられそうです。

本稿執筆時点で、セミナーはすでに3回を実施済みです。各回では、参加者全員に発言を求めるとともに、自身とは異なる視点や考え方に対して建設的にコメントすることを基本ルールとしています。実施時間は13:00～17:00過ぎの4時間余りで、前半にケースディスカッション、後半にゲストスピーカー（幹事会社が選定する「おもしろい人物」）による講話と質疑応答を配置する構成です。さらに、各回終了後には参加者全員による懇親会を設け、交流のいっそうの促進を図っています。

参加者の反響は概して良好です。「入社以来、企業の枠を超えて他社の若手人材と交流する機会は初めてである。この機会を通じて、人的ネットワークを積極的に広げたい」といった声も寄せられています。

なお、本セミナーの企画・開催にあたっては北洋銀行より多大なご協力を賜りました。とりわけ、会長 安田光春様、常務執行役員 人事部長 宮原正宏様、人事部 執行理事審議役 今木賢人様、人事部 久保巧様、公金・地域産業支援部 茅根伊知郎様には、企画立案から参加企業の選定に至るまで格別のご尽力を頂戴しました。ここに記して、深く御礼申し上げます。

表 各回のテーマと幹事会社（予定）

回	テーマ	幹事会社
第1回（2025年12月）	ガイダンスと自己紹介	北洋銀行
第2回（2026年1月）	幸福とは何か	ホクレン
第3回（2026年2月）	組織とリーダーシップ	北海道ガス
第4回（2026年3月）	人間関係について	岩田地崎建設
第5回（2026年4月）	仕事ができる人とは	JR北海道
第6回（2026年5月）	若手のキャリア形成	北海道電力
第7回（2026年6月）	中間管理職の仕事とは	キットアライブ
第8回（2026年7月）	経営トップと経営戦略	北洋銀行